【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和８年11月６日
【会社名】	栗林商船株式会社
【英訳名】	Kuribayashi Steamship Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　栗　林　宏　吉
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町二丁目２番１号
【電話番号】	東京03 5203 局 7981 （代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理本部長　　栗　林　広　行
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町二丁目２番１号
【電話番号】	東京03 5203 局 7981 （代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理本部長　　栗　林　広　行
【縦覧に供する場所】	栗林商船株式会社　室蘭支店 （北海道室蘭市入江町１番地19） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

２【報告内容】

１．当該事象の発生年月日

令和８年11月６日

２．当該事象の内容

(１)特別損失

当中間連結会計期間において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、特別損失を計上いたしました。

(２)特別利益

当社が保有する投資有価証券の一部売却に伴い、特別利益として投資有価証券売却益を計上する見込みであります。

①売却株式　　当社保有の上場有価証券の一部
②売却期間　　令和８年11月～令和９年１月(予定)
③投資有価証券売却益　約22億円(見込み)

３．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

(１)特別損失

当中間連結会計期間の連結財務諸表において、減損損失2,288百万円を特別損失に計上しました。

(２)特別利益

当該事象の発生により、令和９年３月期決算において、投資有価証券売却益約22億円を特別利益として計上する見込みです。